

## 学校評価関係者会議を開催しました

「北海道立江差高等看護学院における学校評価に関する規程」に基づき、下記のとおり学校関係者評価会議を開催しました。

- 日 時 令和5年1月27日（金）
- 場 所 江差高等看護学院
- 構成員 学識経験者、保健医療福祉関係者、教育関係者、保護者、学生、同窓生、地域住民等
- 内 容 ハラスメント再発防止に向けた取り組み状況、江差高等看護学院の現状と課題

当日は、11名の構成員の皆様にお集まりいただき、ハラスメント再発防止対策等について忌憚のないご意見をいただきました。また、報道機関を通じ、ハラスメント再発防止に取り組む学院の様子や、学生代表の声をご紹介いただき、学院をPRする機会にもなりました。引き続き、積極的な情報発信に努めてまいります。

### 【主な意見】

- ・勉強しやすい、先生方が真摯に学生に対応してくれる（学生代表）
- ・入学してパワハラニュースを聞き不安がたくさんあったが改善されて相談しやすい（学生代表）
- ・学生を心から応援したいと思った、町民としても協力したい（地域住民）
- ・図書室の開放など学院が地域に出て行こうとする姿勢が伝わる（保健関係者）



## ボランティア活動・地域との連携

江差町で実施している「ネクストイノベーション」は、先日、今年度の取組の最後として報告会があり、学生1名、教職員4名で参加してきました。来年度からは少しずつ具体的な取組を進めていくとのことで、学院としてもできる限り協力していきたいと思っております。

2月には年1回学院が会場となる移動献血がありました。日赤血液センターでは、学生が協力しやすいよう授業時間を考慮して受付時間を調整してくださり、多くの学生、教職員が協力することができました。また、江差町がマイナンバーカードの出張申請を学院で行ってくれ、希望する学生や職員が手続きするなど、外部の方との関わりが増えてきたと感じています。来年度は、より地域との関わりを持てるよう努めてまいります。

（副学院長・大島 慎也）

## 夕音（しおね）寮から

寮の食事は業者に委託し、月曜日の朝食から金曜日の昼食まで提供していただいております。昨今、食事に対する寮生からの要望が聞かれ、この度、アンケートを実施いたしました。メニューやバランス、味付け、温度などいくつか課題もあり、今後、アンケート結果をもとに業者と打ち合わせを行い、食事内容の改善を図りたいと思っております。

また、週末、自分たちで調理したいという要望もあり、次年度、ホットプレートの購入を検討しております。購入した際には、ルールを守って安全に使用できるよう、寮自治会にも協力をお願いします。引き続き、安全面、衛生面を考慮して少しでも食事が満足できるように努めてまいります。（寮担当・坂上美智子）



北海道立江差高等看護学院 通信

第8号【令和5年3月3日】

一 発行 一  
北海道立江差  
高等看護学院

## 学院の近況

3月になりました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまで支えてこられた保護者の皆様におかれましても、心からお祝いを申し上げます。

卒業式は、勉学の大きな一区切りであると同時に、学生から社会人への新たな出発の時です。皆さんの今日があるのは、自分自身の努力の結果であると同時に、ご家族、先輩、友人、実習施設の関係者、外部講師を含めた教員など多くの方々の温かい愛情とご理解・ご支援のおかげであることを十分に認識し、感謝して、皆さんの新しい人生に向かっていただきたいと思います。

さて、今回は模擬患者さんのお話を書きます。1月24日に70～80歳代の地域住民4名を学内演習にお招きし、模擬患者さんとしてご協力いただきました。地域の方が学院に来られる機会は珍しく教員も学生も緊張しましたが、寝衣に着替え実習室のベッドに臥床していただくと学生の緊張はピークに。ぎこちない手つきで血圧や体温などを測り、その後、技術はどうだったか、会話は自然だったかなど振り返るうち、ようやくいつもの活発さが戻ってきました。住民さんからは「ここが良かったよ」「実習ではこうしたらいいね」など暖かく適確なアドバイスをいただき、学生の学びが深まったのはもちろん、その教育効果の高さに教員側も学ぶことが多い取り組みでした。

少子化や核家族化などで、子どもや高齢者と関わる機会をほとんど持たない学生が増えている一方、看護教育では、社会のニーズに答えられるようコミュニケーション能力をはじめとした看護実践能力の向上が求められています。厚生労働省では地域住民を巻き込んだ演習をモデル的に実施することも検討されていますが、江差高看ではネクストイノベーションへの参加を縁にNPO法人まちカフェ江差の

ご協力もいただき、今回の演習を実現することができました。またこうした機会が持てると良いと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。（学院長・石谷 絵里）



◀学生ホールの装飾り

## ほめ活総括

実施回数8回（特別編を含む） 参加実人数35人（94.6%） カード総数（学生分のみ）405枚

4月から取り組んできたほめ活が終了し、最後は「自分をほめよう！」として、1年間頑張ってきた自分をたたえ合いました。アンケートでは「自分がほめられて嬉しい気持ちになった」、「ほめた相手が喜んでくれている様子を見て自分も嬉しくなった」という意見が多く、「意識的に相手を観察するようになった」、「他の学生や教員の意外な一面を知って楽しかった」などの感想もあり、自己肯定感やコミュニケーション力の向上に役立ったと考えています。

来年度も方法や回数を見直し、継続していきたいと思っております。



▲4月から書きためた「ほめカード」は「ほめられた人」にお渡ししました



## <1年生>

1月30日から、初めての病院実習である基礎看護学実習Ⅰが行われました。患者さまとの一期一会の出会いを通して、学生それぞれの視点で学びを得ることができました。患者さまと直接触れあう貴重な経験は、学生に多くの刺激を与えてくれました。看護を学び始めた1年生ではありますが、少しずつ看護へのイメージや将来の看護師像が形づくられていけたらと願っています。

その後の看護技術演習では、患者役に対する声のかけ方や説明がより丁寧にわかりやすくなり、学習意欲の高まりを肌で感じています。

現在は、初めての病院実習が終わったと安堵したのも束の間、試験や課題が続く日々を送っています。弱音を吐きながらも、エンジンフル稼働で走り続けている姿を見ると、私自身もパワーを分けてもらう日々です。

入学から1年が経過し、2年生へ進級します。慣れない環境の中で専門教育ならではの難しさに奮闘できたのも、学生たちの日々の努力と保護者の皆様のサポートのおかげとっております。

進級後は、さらに学習の専門性が増し、自己課題と向き合う日々が待っています。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

担任も終了となります。不慣れな部分もあったかと思いますが、学生とともに成長させてもらえた1年間でした。この場をお借りして、お礼申し上げます。(1年生担任：楠原千景)



◀1年生・食事援助の演習  
右麻痺・視覚障がいのある方への  
援助を考えました



◀2年生・採血の演習  
学生間で血管を確認  
採血モデルで針を刺して練習



## <2年生>

現在、科目試験や看護過程演習などの課題に追われる忙しい毎日を送っています。それでも、体調を崩すことなく元気に明るく過ごしています。

看護過程演習では「難しい、難しい」と言いながらも、主体的に指導を受けたり、学生間で意見交換をして学びを深めているところです。また、3月の沐浴の実技試験に向けて、計画的に技術練習に取り組んでおります。モデル人形(新生児)へ「服脱ぎますね。お湯に入りますよ。」と笑顔で話しかける姿に、見ているこちらにも心が温かくなります。

2月上旬には、授業を受ける姿勢についてクラス全員で話し合いをしました。この一年間で、自分たちで問題解決をすることができるようになり、クラスとしての成長が感じられます。

今年度の看護師国家試験が終了し、いよいよ“私たちの番”です。学生たちからも危機感や緊張感が感じられます。この気持ちが学習の動機付けとなるように、3月中旬に看護師国家試験を想定して模擬試験を実施します。さらに、必修対策として小テストを行い、自己学習へ繋がるように指導しています。来年のこの時期を笑顔で迎えられるように、まずは、学習時間の確保をしていきたいと考えています。

3年生からは、半年以上にわたる領域実習が始まります。保護者のみなさまのご支援をいただきながら、教員一同サポートに努めていきたいと思っております。(2年生担当：臺坂恵子)

## <3年生>

今年に入ってからの3年生は、2月12日(日)に行われた国家試験に向けて勉強漬けの毎日を送ってきました。学院の教員による国家試験対策を実施したり、週末も学院で勉強したいという要望に答えて学院を開放し1日3回の必修問題講習を行ったりと、可能な限り学習環境を整え、応援してきました。勉強に勉強を重ね国家試験当日を迎え、無事に全員が受験を終えることができました。国家試験当日は緊張した面持ちでしたが、「持てる力」を出し切ってくれたことでしょう。

国家試験後には2科目の単位取得のために更なる学習が続きました。そして本日は卒業式。やっと開放された気分でしょうか。目標にしていた「全員で実習・国試合格、卒業」の‘実習合格’‘卒業’を達成することができました。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新たな旅立ちです。江差高等看護学院を卒業したことを誇りに、これからの人生に更なる花を咲かせてくれることでしょう。期待しています。長い人生には、辛いことや困ることもありますが、そんなときには、私の口癖である「ひとりで悩まない」を思い出してください。そして、いつでも相談してください。母校は、そのためにあります。いつでも待っていますよ。

これからも、皆さんの成長を江差で陰ながら応援しています。(3年生担当：遠藤直美)

### □■ 学院行事等のお知らせ ■□

- ◆ 始業(2・3年生) 令和5年4月5日(水)
- ◆ 入学式 令和5年4月7日(金)  
引き続き保護者懇談会(新入生のみ)
- ◆ 健康診断 令和5年4月11日(火)
- ◆ 防災訓練 令和5年4月11日(火)



▲国家試験応援メッセージが書かれた  
掲示板の前で

## スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の  
学生生活をサポートします ～

### ●日程

オンライン(16:30~18:00) 3/9(木)

### ●原則、予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール [sc.soudan@gmail.com](mailto:sc.soudan@gmail.com)

① 氏名、② 学年、③ 連絡先 Tel、④ 希望日時、⑤ 希望方法、⑥ 相談内容



スクールカウンセラー  
すま 諏訪先生